

孫の手通信



— 第12号 —

平成22年3月25日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 050 (5549) 6005

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

会長就任のご挨拶

一宮町宮原 坂野 勝英

この度「玉川孫一郎と歩む会」の会長を引き継ぐことになりました坂野勝英です。

前会長の馬淵昌也先生がアメリカ合衆国、ハーバード大学で東洋思想を共同研究なさるため、しばらく日本を離れることになり、あらゆる面で対称的な私が、会長を引き継ぐことになりました。

今日まで馬淵昌也前会長が大切に育んで参りました「玉川孫一郎と歩む会」を微力ではありますが、一生懸命運営してまいりたいと思います。

玉川孫一郎町長は、この5月で3年目を迎えます。「町民と協働の町づくり」を目指す玉川町政は、ゆっくりではありますが着実に町民と共に町づくりを進めてまいったと確信し

ております。

昨年末、町が行った町民アンケート調査の中で「あなたの望まれる将来の一宮町はどのような町ですか？」の問いかけに、

○自然や景観を大切にし、自然と共生する町
○犯罪や災害の対策が充実した安全安心に暮らせる町

が一番、二番となりました。大変バランスの取れた見識のある我々町民の答えだと思えます。「玉川孫一郎と歩む会」もこうした皆様と一緒に一歩一歩ゆっくりではありますが歩んでまいりたいと思います。どうかこれから「玉川孫一郎と歩む会」をよろしくご指導ご鞭撻お願い申し上げて新任のご挨拶とさせていただきます。

新しいまちづくり予算を

財政調整基金取り崩しゼロで編成

一宮町長 玉川孫一郎

3月8日から15日まで開かれていた、平成22年第1回一宮町議会定例会で成立した新年度の予算について説明いたします。

予算の編成にあたりましては、財政の健全化をはかるために財政調整基金（年度間の財源の不均衡を調整するための積立金で家庭の

貯金に当たる）を取り崩さないで新しいまちづくりを実現する予算を編成することを基本方針としました。

収入の範囲内で歳出予算を組むのは、普通の家庭では当たり前のことですが、小泉内閣の三位一体改革により地方交付税などが大幅に削減されたため、多くの市町村で基金を取り崩さなければ予算を編成できない状況が続いています。

役場内の全ての課長で構成される政策会議で事業仕分けを行い、投資的事業や各種団体への補助金を徹底的に見直した結果、平成元年以降、実に21年ぶりに財政調整基金に手をつけずに予算を編成することができました。事業仕分けは、担当課長が事業の内容を説明し、各課の課長が質問、意見を述べ、挙手で採決するという国が行った手法を採用しました。

仕分けの対象となった投資的事業61事業のうち2つの事業が廃止され、ひとつが見送り、6つの事業が縮小され、2つの事業が来年度見直しすることになりました。

成立した予算の規模は、一般会計総額36億円、5つの特別会計総額24億7,914万円、総額60億7,914万円となり、前年度対比2.5パーセント増となります。

主な事業をご説明いたします。

●デマンド交通の運行 800万円

私は2年前、マニフェスト「新しいまち

づくりの実行宣言」で、お年寄りなど交通弱者が買物や通院に気軽に行くことができる町にするために、巡回バス・乗り合いタクシーの運行を約束いたしました。

タクシーの便利さをバス並みの料金で利用できるデマンド交通を秋から試験運行いたします。

●上総一ノ宮駅のバリアフリー化 7,413万円
跨線橋に2台のエレベーターを設置します。また、多機能トイレを新設し、駅舎入り口にはスロープを設置します。

●子ども手当 1億7,680万円
中学校修了までの子供ひとりに月額1万3千円を支給します。内2,033万円は町が負担します。

●子ども医療費助成 2,769万円
県は12月からの実施ですが、県に先行して4月より、対象を、現行の未就学児から小学校3年生までに拡大して行います。

●緊急雇用創出事業 2,903万円
臨時職員13名を、県の全額補助により雇用します。保育所には看護師1名を配置し、入所児童の健康観察、体調不良児への保健的な対応をしていただきます。

●一宮学童保育 180万円
現在市街地集会所で開設している一宮学童保育わんぱくクラブは、4月から一宮小学校の特別教室を改修して活動します。

●戸籍電算化 342万円

11月から戸籍関係の証明書が横書きで表示され、見やすくなり、迅速に発行されるようになります。

●道路新設改良工事 2,170万円
各区長さんからの要望等を主体に、公平性と透明性を重視し、昨年度から実施している優先順位評価基準により整備箇所を選定しました。

●町制120周年記念事業 100万円
企画委員会から31の企画を盛り込んだ提案書をいただきました。町の新しいキャラクター「いっちゃん」も決まりました。さまざまな記念事業を計画していきます。ご期待ください。

【最近の新聞より】

平成22年3月6日 朝日新聞

一宮町予算案

財調取り崩し21年ぶり0

一般会計36億円 事業見直しで

一宮町は5日、新年度一般会計当初予算案が対前年度比6・8%増の約36億円になると発表し、事業の大幅な見直しを実施した結果、財政調整基金は21年ぶりに取り崩さずに編成できたという。課長級の政策会議で「事業仕分け」を行い、2事業を多数決で廃止した。玉川孫一郎

町長は「今後は課長以外に担当職員も加えて事業を見直したい」と話している。歳入では、海岸沿いに住宅が増えていたため、町税が同0・2%増の約12億7200万円となった。主要事業では玉川町長のマニフェストに掲げた巡回バス運行、上総一ノ宮駅のエレベーター設置などがある。

平成22年2月26日 千葉日報

ゆるキャラ「いっちゃん」誕生

一宮町 玉前神社・玉依姫命をモチーフ



一宮町のキャラクター「いっちゃん」

一宮町の町制120周年記念事業企画委員会は、このほど、当地キャラクターの選考会議を行った。全国から寄せられた応募作品161点の中から、同町のキャラクターとして玉依姫命(たまよりひめのみこと)をモチーフとしたゆるキャラ「いっちゃん」を選んだ。いっちゃんをデザインしたのは、北九州市小倉北区のグラフィックデザイナー、中本竹識さん(29)。「一宮町の名前の由来となっている上総国一宮・玉前神社の主祭神・玉依姫命をモチーフとし、町のキャラクター『緑と海と太陽のまち』をイメージ。頭部に波や緑、太陽を配置したかわいらしい女性キャラクターをデザインした。中本さんはデザイナーで、日々全国のキャラクターコンテストに応募している。「デザインしたものが着るようになるのがうれしい。一度一宮町を訪ねてみたい」と語った。

同町まちづくり推進課は「町制120周年記念事業だけでなく、その後も町のキャラクターとして使用していきたい」としている。同町では、玉前神社がリュウグウノツカイをモチーフとしたゆるキャラ「いっちゃん」を発表している。